

研究課題名	同種造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス感染予防に関する多施設共同後方視研究
研究の意義・目的	同種造血幹細胞移植後にしばしば発症する感染症の一つとしてサイトメガロウイルスが知られています。2018年よりサイトメガロウイルス感染予防薬としてレテルモビル（商品名：プレバイミス）が使用されるようになりましたが、実臨床における投与の有用性に関するデータは十分ではありません。この研究では、関東造血細胞移植グループ参加施設で移植を行った実際の患者さん達の経過から、レテルモビルの有用性を調べるとともにレテルモビル投与が特に有効な患者群を同定することを目的としています。
研究の方法	この研究では、既に移植した患者さんの病気や移植に関する情報（年齢、性別、疾患、ドナーの種類、前処置、移植片対宿主病予防法、サイトメガロウイルス感染の有無、レテルモビルの投与や副作用等）をカルテから収集し、個人情報を除いた上でデータをまとめて統計解析を行い、レテルモビルの有用性を検討します。
研究の期間	・研究対象の期間…2014年1月1日～2019年12月31日 ・研究実施期間…倫理審査委員会承認日～2022年12月31日
試料・情報の外部機関への提供	（提供先の名称、提供なしであれば「なし」と記入） なし
個人情報保護の方法	この研究では、個人を識別できる情報は除いた上で（匿名化といいます）情報を扱い、個人情報が外部に漏れないようにします。
結果の公開	この研究の結果は、共同研究者と協議の上で研究代表者が論文や学会発表の形で公表される可能性があります。その際、個人を識別できる情報は一切含みません。
試料・情報の管理責任者	都立駒込病院 血液内科 遠矢 嵩